

# 園だより



2024.12月号

Eメール [donguri\\_mori@cup.ocn.ne.jp](mailto:donguri_mori@cup.ocn.ne.jp)

ホームページ <http://minnanomori>

## 人と人とのつながりを大切に 一子ども・保護者・職員・地域

11月は防災訓練、大掃除、クラス親睦会等の行事や研修があり、たくさんの方々と関わる時間の中で改めて人と人との繋がり大切さを感じる1ヶ月となりました。

### 防災研修を通して

先日、旧東区を中心とした防災に関する研修会に参加しました。浜松市東災害ボランティア連絡会の方々が能登半島地震での災害ボランティアを経て学んだことを中心にお話しをしてくれました。まずは自分たちの住んでいる地域がどのような場所であり、何に気を付けていかなければいけないのかを知ることや保育園として、地域の人たちと日々の繋がりを大切に、保育園のことをもっと知ってもらうことも大事なことだと感じました。子どもたちと職員は、散歩をしながら、地域の方々と触れ合ったり、地域のことを知ったりしていきます。それも地域との繋がりになっています。災害が起こったときに冷静に対処できるように、日頃から少しずつ備えをしていきたいと思いました。

### 大掃除ありがとうございました

年間2回の大掃除では、子どもたちが保育園で気持ちよく過ごしていけるよう、保護者の皆様の力を借りながら保育園全体をお掃除しています。掃除をしながら保護者の方々と職員がお話する少しの時間も繋がりで。今年も2回の大掃除にご協力いただきありがとうございました。

### 親睦会や懇親会を通して繋がりが深まっています

年間を通してクラスの親睦会が行われていますが、今年は11月の開催が多く、親睦会の月となりました。どんぐり保育園では開園当初から、保護者会活動やクラス会、親睦会を開催する中で、保護者と子ども、職員のつながりを大事にしています。特に親睦会では親子で楽しめるよう役員さんが色々な企画を考えてくれています。先日、やま組の親睦会では親子でフルーツバスケットを行いました。大人は昔遊んだなと懐かしさを感じたり、子どもたちの楽しんでいる姿を見て自然と笑い合い、温かい雰囲気になっていました。そんな時間の積み重ねがどんぐりの温かさだと感じています。昨今はコロナ禍を経て、つながりが希薄になっていましたが、どんぐり保育園では少しずつ、様々なところでつながりが戻りつつあります。

また役員会の懇親会の中では、1歳児の子どもにイヤイヤ期に悩んでいるお母さんに幼児クラスのお母さんたちからは「うちもそうだったよ、今ではなつかしい」「みんな同じだから大丈夫」などいろいろなアドバイスや経験を聞いて、ホッとしているお母さんの様子がありました。保護者会の中ではこのようなクラスの超えたつながりが支えになっていくこともあります。

大人が様々な繋がりの中で生活していることと同様に、子どもたちは異年齢保育を通して、年齢を超えた繋がりを作っています。子どもたちも関わりの中で色々なことを学びますが、それはいつも決してうまくいくことばかりではありません。しかし、相談し合い、関わり合う中で折り合いをつけたり、子どもたちなりに考え日々を過ごしています。私たち職員はそのような子どもたちの心の動きを感じ取り、一緒に考え、進んでいきます。

このように子ども、保護者、職員、地域と様々な関わりがありますが、どのつながりも欠かせません。また、どれも勝手にできる繋がりではありません。色々な活動を通し、関わり合う中で生まれていくことです。子どもを真ん中に、大人も手を取り合って今後も一緒に進んでいけたら幸いです。